

平成 24 年度事業報告

特定非営利活動法人サイバー・キャンパス・コンソーシアム TIES

平成 24 年度、NPO 法人 CCC-TIES では、本法人の理念である「高等教育機関の教育の質向上」と「連携・共有・公開」を推進し実現するため、従来の事業と組織体制の見直しを行った。また、新たな大学連携への取り組みとコミュニティの活性化につながる、新システムの構築を行った。

1. 会員加入状況報告

平成 24 年度の本法人会員数は、下表のとおりである。

平成 25 年 3 月 31 日現在の会員加入状況 ():平成 23 年度実績

区 分	会 員 数
正会員（個人）	21 (21) 名
正会員（団体）	11 (11) 団体
情報会員	0
賛助会員	9 (8) 団体

2. 実施事業

【特定非営利活動に係る事業】

(1) 大規模オンラインコース基盤の整備

従来のシステムを根本から見直し、「大規模オンラインコース基盤」を設計思想とした、新たな発想に基づく新システムの開発を行った。

(2) 調査・研究及び、他組織との情報共有

新システム構築に当たり、教育市場動向、技術動向を探るとともに、研究者、技術者との情報共有を行うため、研究会等に積極的に参加し、システム開発状況を報告した。

(3) ワークショップ・シンポジウム開催

本法人の活動を広く周知すると共に、会員及び研究者、技術者そして関係企業との交流を活発化するために、ワークショップ(1回)、シンポジウム(2回)を開催した。

(4) 中期計画策定

TIES の過去の実績と課題を今一度見つめ直し TIES プロジェクトの新たな段階を迎えるためのビジョンと戦略を明示し、今後 3 年間の中期計画を策定した。

【その他の事業】

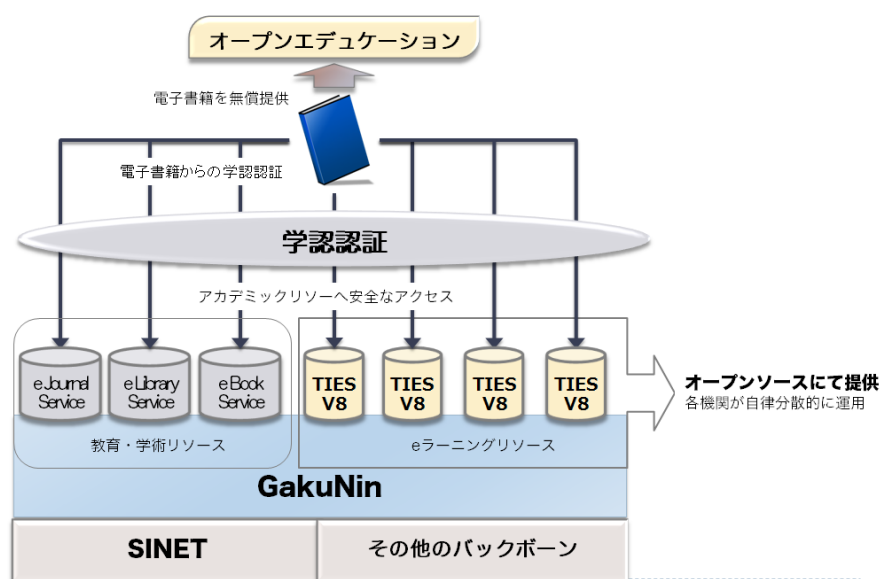
事業実施なし

3. 実施事業詳細

(1) 大規模オンラインコース基盤の整備

従来の TIES システムはシステムの老朽化、スケーラビリティの欠如、セキュリティの脆弱性、運用体制など、サービス提供の継続において様々な課題を抱えていた。従って、TIES 利用大学へのサービスを一旦、休止することによりリソースを集中し、従来のシステムを根本から見直し、新たなシステムの開発を行った。

新たなシステムは、「大規模オンラインコース基盤」を設計思想とし、本法人のビジョンである「連携・共有・公開」を実現する次のような特徴を持つシステムとした。



- **共有: システムのオープンソースでの提供**

Moodle 及び Moodle モジュール等のオープンソースで提供されているリソースを、システムのベースとして積極的に採用することで、TIES V8 をオープンソースで提供することを実現した。TIES V8 は各大学が自由にダウンロードし、自組織に併せてカスタマイズし、自律分散的に運用可能であると共に、TIES V8 を利用する大学及び教員間での、システム運用、教育ノウハウ、コンテンツ等の共有を可能とする。

- **連携: 学術認証フェデレーションの利用**

TIES V8 利用大学間のシステム運用、教育ノウハウ、コンテンツ等の共有そして、単位互換等の共同事業を効率的に安全に実施するため、TIES V8 のユーザー認証に関し、学術認証フェデレーションでの Shibboleth 認証を標準実装した。

- **公開: 大規模オンラインコース基盤の構築**

現在、世界で活発化しているオープンエデュケーションの活動を考慮し、システム全体を数百万人単位の学習者が学習可能な大規模オンラインコース基盤と考え、e-book を利用したモバイル環境の構築など、新しい発想に基づいたシステムと連携できるものとした。

(2) 研究会・シンポジウム参加

新システム TIES V8 の開発に関して、最新の情報を収集するとともに、最先端の研究者との情報共有を行うため、以下のシンポジウム、研究会に参加し、事例発表を行った。

- **情報処理学会 インターネットと運用技術研究会(2012年9月20日)**
「学認と電子書籍を利用したオープンエデュケーション基盤の提案」
堀 真寿美, 小野 成志, 小林 信三, 山地 一禎, 安東 孝二
- **6th International Conference on Project Management(2012年10月5日)**
「TIES e-Portal2.0 Trials for Making Innovations in Open Education」
Hori, M., Ono, S., Kobayashi, S., Yamaji, K.
- **明治薬科大学第15回 MBI 研究発表会(2012年10月27日)**
「Open Technology Open Knowledge & Open Education」 堀真寿美
- **インターネットコンファレンス 2012(2012年11月15日)**
「電子書籍と Shibboleth 認証を用いたオープンエデュケーション情報基盤の提案」
堀 真寿美, 小野 成志, 小林 信三, 山地 一禎, 安東 孝二
- **第14回図書館総合展フォーラム「学術電子教科書・教材はこうなる」(2012年11月22日)**
「CHiLO プロジェクトの新たな取り組み」 堀真寿美
- **情報処理学会 教育学習支援情報システム研究会(2013年2月2日)**
「大規模オンラインコースを考慮した学習支援システムの構築」
堀真寿美, 山地一禎, 小林信三, 小野成志, 安東孝二
- **AXIES-csd 国際セミナー「MOOCsと電子図書館の今後を考える」(2013年2月24日)**
全体討論「日本における MOOCs の可能性」 堀真寿美, 小野成志
- **Coursera 及び Stanford Online 視察(2013年3月18, 19日)**
訪問先: Coursera, Andrew Ng 氏
Stanford Online, Mitchell Stevens 氏 Dan Schwartz 氏, Amy Collier 氏
「CHiLO Project introduction」 土屋俊, 小野成志, 小林信三, 安東 孝二, 堀真寿美

(3) シンポジウム・セミナー開催事業

大学間における教育連携を促進するため、以下のシンポジウムを実施した。今年度は、試験的にワークショップ(春)・シンポジウム(夏・冬)の年3回開催とし、積極的に告知すると共に、企業協賛を集め、のべ 389 名(ライブ配信視聴者を含む)の参加者を得た。

- **TIES ワークショップ『新しい TIES への期待と展望』**

主 催: NPO 法人 CCC-TIES / 帝塚山大学

開催日: 平成 24 年 6 月 16 日(土)

開催地: 大阪大学中之島センター 304 講義室

参加者：現地参加 41 人，ライブ配信視聴 36 人 （計）77 人

プログラム

1. 講演

- ・講演「TIES の進化と未来」..... NPO 法人 CCC-TIES 理事長 柳澤保徳
- ・講演「学術認定フェデレーションと TIES」..... 国立情報学研究所山地一禎氏

2. パネルディスカッション 「新しい TIES への期待と展望」

・第 1 部 発表

- 「TIES コミュニティとコンテンツ流通のこれから」.....NPO 法人 CCC-TIES 理事 小野成志
- 「Moodle 利用による大学連携の可能性」..... 熊本大学 喜多敏博氏
- 「大学連携による教材共有とコンテンツ流通の可能性」..... 千歳科学技術大学 小松川浩氏

・第 2 部 討論

..... 山地一禎氏／小野成志／喜多敏博氏／小松川浩氏／(司会)岩井洋氏

● NPO 法人 CCC-TIES 2012 夏のシンポジウム in Hokkaido

『ICT を活用した今後の教育の方向性を探るデジタルコンテンツの質保証』

主 催：NPO 法人 CCC-TIES / 札幌学院大学

開催日：平成 24 年 8 月 9 日(木)

開催地：札幌学院大学 社会連携センター 3F

参加者：現地参加 64 人，ライブ配信視聴 57 人 （計）121 人

プログラム

1. 講演

- ・基調講演：「高等教育における eEverything: e-learning, e-library, e-publishing &c」
..... 独立行政法人大学評価・学位授与機構土屋俊氏
- ・招待講演：「学習の共同性と社会性を活かした学習環境のデザイン」
..... 公立はこだて未来大学美馬のゆり氏
- ・招待講演：「生涯学習社会における学習コンテンツの持続的開発と流通」..... 放送大学山田恒夫氏
- ・招待講演：「大学連携によるデジタルコンテンツ共通基盤」..... 千歳科学技術大学小松川浩氏

2. 報告

- ・報告：「TIES v8-SORAMAME- 概要」..... 帝塚山大学堀真寿美氏

3. パネルディスカッション 「デジタルコンテンツの質保証」

・第 1 部：発表

- 「入学前教育のデジタルコンテンツ」..... 札幌学院大学 石川千温氏
- 「学部教育のデジタルコンテンツ」..... 名古屋学院大学 児島完二氏
- 「キャリア教育のデジタルコンテンツ」..... 帝塚山大学 岩井洋氏
- 「生涯教育のデジタルコンテンツ」..... 明治薬科大学 日野文男氏

・第 2 部：討論 石川千温氏／児島完二氏／岩井洋氏／日野文男氏／(司会)大森義行氏

● NPO 法人 CCC-TIES シンポジウム『オープンエデュケーションは大学をどう変えるのか』

主 催: NPO 法人 CCC-TIES

開催日: 平成 24 年 12 月 8 日(土)

開催地: 大阪大学中之島センター講義室 304

参加者: 現地参加 78 人, ライブ配信視聴 113 人 (計)191 人

プログラム

1. 午前の部「日本におけるオープンエデュケーション」

・基調講演:「日本における OE と放送大学における現状」.....放送大学長岡部洋一氏

・報告:「NPO 法人 CCC-TIES のオープンエデュケーションへの取組 新しい TIES が教育を変える」

..... NPO 法人 CCC-TIES 事務局 堀真寿美/コーディア株式会社 榎本英晃氏

2. 午後の部「世界のオープンエデュケーションとその展望」

・基調講演:「グローバル化する高等教育とオープンエデュケーション:協調と競争が織り成す未来」

..... 京都大学 高等教育研究開発推進センター 飯吉透氏

・特別講演:「高等教育とオープンアクセス:オープンエデュケーションのビジネスモデルの可能性」

..... 独立行政法人大学評価・学位授与機構 土屋俊氏

3. パネルディスカッション 「オープンエデュケーションがもたらす大学の未来」

・第 1 部:発表

「CHiLO プロジェクトの新たな取り組み」.....NPO 法人 CCC-TIES 事務局 堀真寿美

「オープンソースコミュニティの視点からみたオープンエデュケーションの可能性」

..... 株式会社 mokha 安東孝二氏

「大学授業教材のゆくえ」.....大日本印刷株式会社 長丁光則氏

・第 2 部:討論

..... 飯吉透氏/土屋俊氏/安東孝二氏/長丁光則氏/堀真寿美/(司会)小野成志

(4) 中期計画の策定

1996 年より帝塚山大学で開始された e ラーニングシステム TIES を活用したプロジェクトは、利用大学が 83 校 (平成 24 年 3 月) にまでに及ぶ、大規模プロジェクトに成長した。この TIES プロジェクトを継続・発展させ、公開・共有・連携による高等教育の発展を実現するため、過去の実績と課題を今一度見つめ直し TIES プロジェクトの新たな段階を迎えるためのビジョンと戦略を明示し、今後 3 年間の中期計画を策定した。

中期計画の策定に関しては、CCC-TIES 副理事長(小野)をリーダーとした作業グループが、原案作成を行い、理事長(柳澤)に報告。理事長は報告された原案をもとに、CCC-TIES 理事会を招集し、決定された。